

岡山畜産便り

2023 6



令和5年度 公益財団法人中国四国酪農大学校 第59期生

も く じ

〔重点施策・事業〕

令和5年度の重点施策について

岡山県農林水産部畜産課 1

令和5年度重点事業について

おかやま酪農業協同組合 4

令和5年度重点事業及び重点取組課題

全農岡山県本部畜産部 6

令和5年度家畜共済事業重点実施方策

岡山県農業共済組合 8

令和5年度重点事業について

(一社)岡山県畜産協会 9

〔技術のページ〕

＜新規選抜＞

岡山県基幹種雄牛「糸勝百合」号の紹介

畜産研究所 育種改良研究グループ 12

〔県民局だより〕

暑さをジェラートでリフレッシュ！

備前県民局畜産班 矢原 大雅 14

〔家保のページ〕

管内一養豚場における生産性向上に
向けた飼養管理改善の取組

井笠家畜保健衛生所 16

〔酪大だより〕

第59期生が入学しました

(公財)中国四国酪農大学校 18

〔教育現場の声〕

農大生はプロジェクト学習に取り組んでいます！

農林水産総合センター農業大学校 20



メディパルグループ



動物の健康は 人の健康につながる

- 動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、あらゆる動物の健康維持に貢献します。
- 安全な畜水産物の生産をサポートし、獣医療の発展と食の安全・安心に貢献します。

MPアグロ株式会社

本社 〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13
TEL 011(376)3860 FAX 011(376)2600

岡山支店 〒709-2122 岡山市北区御津吉尾1-1 TEL 086-724-4880 FAX 086-724-4889
 AHSC西日本 〒702-8032 岡山市南区福富中2丁目6-18 TEL 086-902-2200 FAX 086-264-2500
 御津物流センター 〒709-2122 岡山市北区御津吉尾1-1 TEL 086-724-4816 FAX 086-724-4882
 東京本部・札幌・旭川・函館・帯広・北見・釧路・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・東京・北関東
 大阪第一・大阪第二・兵庫・広島・山口・鳥取・島根・高松・徳島・松山・宇和島
 福岡オフィス・福岡第一・福岡第二・熊本・宮崎・鹿児島・鹿屋
 札幌物流センター・帯広物流センター・盛岡物流センター・関東物流センター

人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します



生命をのせて回る地球に、潤い豊かな未来を届けたい。

ASCO
<https://www.asco.sala.jp>

本社

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地
TEL 0532-34-3821 FAX 0532-33-3611

東京本社

〒103-0027
東京都中央区日本橋1丁目16番地3号
日本橋木村ビル7階
TEL 03-6225-5790 FAX 03-6225-5791

営業所

- ・北海道支店
札幌
- ・東日本支店
前橋、松本、旭、茨城、栃木、東京
大宮、宮城、福島
- ・中日本支店
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- ・西日本支店
広島、山口、米子、岡山、大阪、京都

令和5年度の岡山県重点施策について

岡山県農林水産部畜産課

岡山県では「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」に基づき、儲かる産業としての農林水産業の確立に向けた取組を加速化するとともに、ポストコロナの「新たな日常」を見据えた取組を進めています。

畜産においては、令和12年度を目標とする「岡山県酪農・肉用牛生産近代化計画」を令和3年度に策定し、酪農や肉用牛等の生産振興、飼料自給率向上、担い手確保、消費拡大、危機管理体制の強化、技術開発などの対策に取り組み、総合的に畜産振興を図っています。また、長期化する飼料価格高騰により経営が厳しい状況が続いており、今後、安定した畜産経営を継続するには、粗飼料自給率の向上は必須であるため、耕畜連携の取組を推進しています。

本年度の主な重点施策は次のとおりです。

1 生産基盤の強化

○岡山県畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業等（畜産クラスター事業等）

地域ぐるみで収益性の高い畜産業を実現するために畜産クラスター協議会を設立し、計画に基づいた機械導入等により生産性向上等を推進します。また、地域資源を活用したバイオマスプラントの整備を支援します。

○耕畜連携の推進

耕畜連携体制の構築に向けた取組として、県産飼料の生産・利用の情報集積、マッチングの仕組みづくり、安定した品質の飼料づくり、収穫組織の育成強化等を実施します。具体的には稲WCS、飼料用トウモロコシ、牧草等の作付を水田利用の直接支払い交付金などを活用しながら推進します。

○県産稲わら利活用推進事業【新規】

未利用資源である県産稲わらを畜産利用

へと活用するための利用体系の普及及び生産拡大に伴う機械導入を一体的に支援し、循環型持続的農畜産業の確立を図ります。

2 生産性の向上

○ジャージーブランド強化促進事業

関係機関が連携し、市場調査、商品開発・販路開拓やPRまで一体的に取り組むことで、ジャージーブランドの強化を図り、付加価値を高めた牛乳・乳製品により収益性の改善につなげます。

○持続的酪農支援事業【新規】

施設の整備・補改修や生産性向上に資する新技術等の導入により持続的な酪農経営を支援します。

○肉用牛広域後代検定推進事業

岡山の血統を受け継ぐ県有種雄牛の雌産子の保留を促進するとともに、ゲノミック評価を活用した種牛造成に取り組むことで、優秀な岡山和牛の増頭を図ります。また、和牛肉のおいしさを向上させるため、従来の脂肪酸組成や小ザシの改良に加え、牛肉中の旨味やコク、肉色等の改良に取り組めます。

○伝統の「岡山和牛」再発見事業【拡充】

岡山の血統を受け継ぐ高能力な繁殖雌牛の県内定着を促進するため、ゲノミック評価を活用するとともに岡山和牛の改良を加速させ、令和9年に開催される北海道全共に向けた出品対策に対して支援を行います。

○肉用牛生産条件特別整備事業

肉用牛経営における施設整備や暑熱対策軽減の施設等の導入を支援します。また、和牛入門講座の受講生など新規参入者の繁殖用雌牛の導入等を支援し、フォローアップ指導を実施します。

3 担い手の確保・労働負担の軽減

○酪農担い手確保対策事業

（公財）中国四国酪農大学校において実践教育を行うため、酪農を通じて地域社会に貢献できる健全で良識ある人材の育成に努め、将来の酪農を担う人材の確保と資質向上を図るために支援します。

4 指導支援活動の充実強化

○畜産経営技術高度化促進事業

酪農支援チームなどの関係団体と一体となった指導支援活動により、畜産経営の飼養管理技術の高度化を図ります。また、生産性の向上や生産コスト低減のため、自給飼料の生産に係る現地実証を行い、迅速な普及と定着を図るのと併せて、専門家による提言を基に、県、関係団体等とより一層の耕畜連携を推進します。

5 消費拡大対策

○畜産物銘柄推進事業

安全・安心に「おいしさ」を兼ね備えた「おかやま和牛肉」をPRし、指定販売店等での販売促進や地産地消を推進するとともに、豚等への県産白桃残さを活用した飼料の利用促進及び、機能性成分分析の結果をもとにした量販店等への販路の開拓等、マーケットインの考え方を踏まえたブランド力の向上を図ります。

○牛乳・乳製品消費拡大の普及啓発

県産牛乳等の安定的な消費に資するため、学校給食への供給事業を適正かつ円滑に推進します。また、毎年6月の牛乳月間や各種行事で、県産牛乳等の消費拡大の啓発活動を行います。

あわせて「県産生乳100%認定制度」の普及に努めます。

○県営食肉市場予防保全・経営改善事業

県営食肉市場について、計画的な修繕、

改修を行うことで施設の長寿命化を図るとともに、と畜頭数の増頭等による経営基盤の強化を図り、本県食肉流通の中核施設として魅力ある市場づくりに取り組みます。

6 安全で安心な農林水産物の生産と信頼確保の推進

○家畜伝染病予防事業

家畜伝染病予防法に基づき、検査、消毒、病性鑑定等を実施し、家畜伝染病の発生予防及びまん延防止により、畜産経営の安定と安全な畜産物の供給を図ります。

高病原性鳥インフルエンザや豚熱、口蹄疫等の発生を予防するため、農場の飼養衛生管理基準の遵守指導による侵入防止対策や監視体制の強化を図るとともに、豚熱については、飼養豚へのワクチン接種に加え、野生いのししへの経口ワクチン散布及び捕獲検査による監視強化を行います。また、万一の発生時に迅速かつ的確な初動対応が実行できるよう、関係機関との連携により危機管理体制の一層の強化に努めます。

7 普及指導重点課題

耕畜連携や地域資源等の活用による飼料生産基盤強化はもとより、生産性向上等により畜産経営の安定的な発展を図るため、関係機関等との連携を密にし、県民局、家畜保健衛生所及び畜産研究所が一体となり総合的な課題解決に取り組みます。

自給飼料においては「水田のフル活用及び国産飼料の生産技術活用による生産基盤の強化」、酪農においては「酪農経営の生産性向上に向けた取組」、肉用牛においては「和牛増頭に向けた取組」を重点テーマとして各県民局が課題を設定しています。

○備前県民局

（1）水田のフル活用及び国産飼料の生産・利用による経営基盤の強化

- ・良質粗飼料の生産技術の普及及び耕畜連携による地域産飼料の生産・利用の推進

(2) 和牛増頭に向けた取組

- ・子牛飼養管理改善指導による四ツ☆子牛の認定率向上と繁殖基盤の強化

○備中県民局

(1) 生産性向上による酪農経営基盤の強化

- ・搾乳機器洗浄確認等による生産性向上
- ・耕畜連携によるWCS生産利用推進

(2) 環境保全と飼料増産の取組支援

(井笠地域)

- ・共同堆肥舎堆肥の高品質化(モニタリング)、飼料用トウモロコシの生産性向上及びバイオマスプラントで生産された消化液利用体制の確立

(3) 「備中牛」のブランド化を目指した和牛子牛飼養管理技術の向上及びSGS給与によるブランドの差別化(高梁地域)

- ・飼養管理技術、衛生管理指導による四ツ☆子牛認定率の向上

(4) 産地育成の支援と各種補助事業を活用した生産基盤の強化(新見地域)

- ・市内農家等における子牛哺育・育成技術指導及び稲WCS生産指導の強化

○美作県民局

(1) 県産飼料を活用した酪農・肉用牛経営基盤の強化(津山・勝英地域)

(2) 自給及び地域産飼料の生産・利用の推進(真庭地域)

- ・気候条件等にあった優良品種導入推進
- ・飼料用トウモロコシの品質等向上
- ・稲WCS等のマッチングの推進

(3) ジャージー酪農の振興(真庭地域)

- ・高品質な生乳生産体制の強化
- ・地域一体となった持続可能なジャージー酪農の実践

(4) 飼養管理改善による和牛生産性向上支援(津山・勝英地域)

- ・飼養管理技術向上対策による生産性の向上

8 畜産の技術開発と普及

農林水産総合センター畜産研究所では、消費者ニーズに対応した高品質な畜産物のブランド力強化や地域の環境との調和と気候変動への対応のため、生産現場に役立つ技術を組み合わせた技術体系の実証研究や、将来を見据えて次世代の技術体系を生み出す基礎的研究を行い、成果の速やかな実証と普及を図ることとしています。

【重点分野】

(1) ブランド力の強化

種畜能力の一層の改良並びに優良種畜や受精卵等の供給 ブランド化に必要な畜産物の付加価値向上技術の開発

(2) 環境との調和と気候変動への対応

循環型社会構築に向けた家畜ふん尿利用技術の開発 温室効果ガス(GHG)排出削減のための技術の開発

(3) 生産性の向上

効率的な家畜飼養管理技術や飼料生産技術の開発

【主な研究課題】

- ・畜産からのGHG排出削減のための技術開発
- ・おかやま和牛肉ブランド力向上のための優良種雄牛造成
- ・**⑨**もっと「おいしい岡山和牛」へ改良事業
- ・牛伝染性リンパ腫(EBL)発生予防のための調査研究
- ・**⑨**稲WCSを用いた乳用牛の育成方法の確立

これらの事業が円滑かつ効果的なものとなるよう引き続きご協力をお願いします。

令和5年度重点事業について

おかやま酪農業協同組合

I. 基本方針

令和5年度に入り、乳価交渉は大手乳業メーカー3社への回答に対して、中国生乳販連は4月4日の販売委員会、理事会において、他ブロックの状況や交渉を長期化させても回答を覆す交渉は困難であるとして、不本意ではありますが大手3社の回答を受け入れることといたしました。

しかし、酪農現場のコスト上昇と大きく乖離しており、引き続き政府、行政等への要請活動を通じ酪農支援の継続を求め、8月以降の生乳需給、為替、副産物価格等の状況を踏まえ指定団体と連携し6年度乳価交渉に取り組むこととしています。なお、衆院農林水産委員会では生産費の上昇を販売価格に反映できるよう環境整備を進める考えを示し、農水省は畜産・酪農価格転嫁対策の一環で生産・加工流通・消費に関わる関係者が集まる協議会を設置しました。

乳価改定の足かせとなる脱脂粉乳の過剰在庫に対し、Jミルクは過剰在庫削減対策を6か月間延長し、令和5年度末まで輸入調製品の置き換えや海外輸出等を進め、削減目標を32千トンと設定し生乳需給の改善に取り組むこととしています。

新型コロナウイルス感染症対策は昨年10月から外国人観光客の受入れが再開、3月13日からマスク着用は個人判断とされ、感染法上の位置付けが5月8日から5類に移行されました。この間に外国人観光客は増加し、外食産業の復活と共に、牛乳・乳製品のインバウンド需要増による需給ギャップ解消と過剰在庫削減への期待が高まっています。

しかし、酪農情勢はウクライナ侵攻の長期化による穀物、原油価格の高騰、また、円安の進行も重なり、依然として生

産資材価格は高止まりしており、酪農経営は引き続き厳しい状況に置かれています。政府は、配合飼料価格が高止まりした際も補填が出やすくなるよう配合飼料価格安定制度に新たな特例を措置し、国産粗飼料利用支援も継続しますが、さらなる生乳需給の緩和改善や酪農業界を挙げて消費者への理解醸成を通じた需要拡大に取り組む必要があります。

今後も酪農情勢は不透明であり、生産資材価格、副産物価格、乳製品在庫水準等多くの不確定要素を抱える現状ではありますが、生乳需給動向を見据えながら、各種補助事業を活用して生乳生産基盤の維持・確保を目標に役職員一丸となり事業展開を進めて参ります。

事業重点推進目標

1. 生乳生産量91,000 t、購買取扱数量61,700 t、流通取扱頭数8,400頭以上を目標として取り組みます。
2. 生乳の安全・安心（ポジティブリスト制度）確保に取り組みます。
3. 販売不適合乳の発生を防止するため、脂肪率3.5%以上の堅持及び、特に体細胞30万未満に対する生産者意識の向上に努めます。
4. 財務の拡充を図ります。
5. 中販連、全酪連と連携し、事業推進を強化します。
6. 行政、諸機関の指導・情報・補助事業等積極的に取り組みます。

II. 各事業の運営方針

1. 生産支援事業

乳質改善を重点項目と位置付け、搾乳周辺機器部品の交換助成、バルク洗浄助成に取り組むとともに、岡山県酪

農経営支援チームとして、乳質改善・飼養環境の改善対策・繁殖改善に努め、持続可能な酪農経営の支援を推進します。

後継牛確保対策として、自家保留牛助成を継続すると共に、ゲノム解析に対する助成を行い、生産性や経済性を予測し、改良のスピードを上げ、優秀な雌資源の確保対策に努めます。

組織活動を支援し、女性部・青年部、組合員相互の連携・親睦を深めるとともに、若い後継者・担い手の育成に努めます。

飼養衛生管理基準の改正施行にあたり、関係機関等と連携し、疾病発生予防のため、農家への周知に努めます。

2. 酪農ヘルパー事業

おかやま酪農ヘルパー利用組合との相互理解の上でヘルパー事業を推進します。また、円滑なヘルパー出役を行うため、専任及び臨時ヘルパーの確保に努めます。

3. 乳用牛群検定推進事業

検定農家の加入を推進するとともに、検定員及び検定農家の負担を軽減するため、牛群検定A T法（夜朝交互立会検定法）を希望組合員に対し実施します。

4. 診療事業

繁殖成績向上を目的とし、超音波診断装置等を活用した繁殖診療に取り組みます。

衛生的な生乳の生産、乳質の向上およびその他の疾病予防を目的として、有効な動物用医薬品や飼料添加剤等の供給に努めるとともに、ヨーネ病をはじめとする伝染性疾患に対し、積極的な予防対策を図ります。

関係機関に協力を仰ぎながら、優良後継雌牛や市場評価の高い和牛の生産に受精卵移植技術を活用してまいりま

す。

5. 乳牛流通事業

県補助事業に取り組むとともに、県内産の乳用雌仔牛の増産に努め、流通促進し搾乳後継牛の確保と生産基盤の整備を図ります。

6. 販売事業

共販体制のメリットを確保するため、中国生乳販連と共に集乳業務の合理化及び効率化に取り組みます。

乳質評価基準に対する生産者の意識向上に努めます。

7. 購買事業

全酪連や組合内各部署と連携し、指導購買に重点を置いた事業推進を図り、省力化・機械化・乳質向上に対応した飼料内容の見直しに努めます。

8. 経営支援事業

国のクラスター事業（機械導入・施設整備事業等）、中酪事業（暑熱対策・カウコンフォート等）、環境負荷軽減型持続的生産支援事業、堆肥舎等長寿命化推進事業に取り組み、組合員の経営の安定と生産性向上を図ります。

国の畜産ICT事業、楽酪GO事業に取り組み、組合員の労働負担軽減に資する取り組みを推進していきます。

9. 経理

組合財務の安定と健全性に努め、適正な運営を図ります。

10. 特別対策室

組合員の経営安定と酪農収益の向上支援に努めます。

11. 経営管理

内部監査の充実・強化により内部統制の徹底に努めます。

コンプライアンス態勢の強化と不祥事未然防止の強化に努めます。組合員参加の幅広い広報活動に努めます。

職員を各種研修会へ参加させ、専門的な能力と幅広い知識の習得に努めます。

令和5年度重点事業及び重点取組課題

全農岡山県本部畜産部

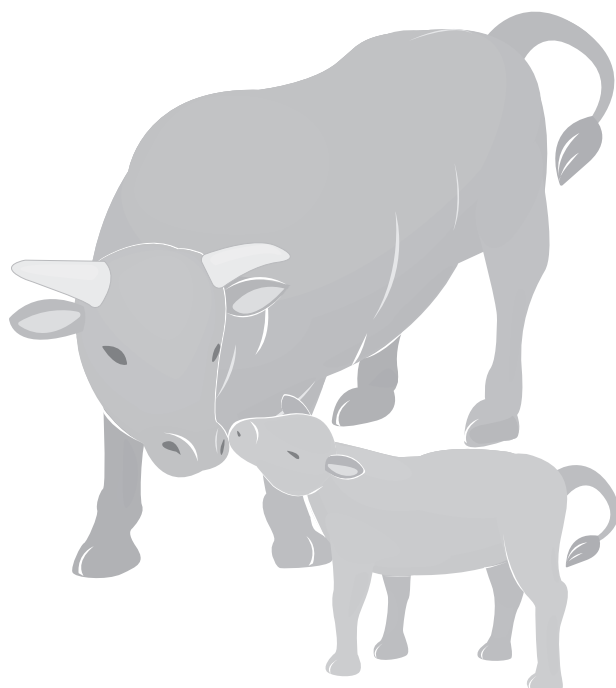
【実施具体策】

1. 生産基盤の維持・拡大のため、E T技術による和牛子牛の増産と子牛市場への出荷誘導を進めます。加えて、生産者・J Aと連携し各種事業を積極的に活用して和牛繁殖への新規参入・経営転換支援を行うとともに、増頭支援を行います。
2. 岡山和牛子牛資質向上対策協議会と連携した生産指導を行い、「おかやま四ツ☆子牛」認定率の向上を図り、有利販売による生産者手取りの向上を目指します。
3. 一般市場上場頭数の維持・拡大に向けた取り組みを強化します。
4. 飼料米・S G S等を活用した畜産物販売を生協等と進めていくことで、耕畜連携を後押しし、農業の生産力向上に取り組めます。
5. 県産畜産物消費拡大のため、直接販売を積極的に行うとともに既存精肉店でのP R活動の強化を行います。また、県内販売先の掘り起こしを行い、地産地消に取り組めます。
6. 商品品質向上に向けて、H A C C Pシステムに則った商品製造を進めます。
7. ミートセンターの改善・新設を進め、作業効率と製造品質向上に取り組めます。

【行動計画】

実行具体策	5年度行動計画（数値目標）
1. 和牛繁殖基盤の維持・拡大 (1) E T技術による和牛子牛の生産の拡大 自己優秀卵、県産優秀卵によるE T子牛の増産 と子牛市場への出荷誘導 (2) 新規参入及び経営転換による和牛繁殖への増頭 推進 (3) 指定交配推進と優良雌牛産子の保留推進 (4) 中核農家への経営技術支援	750頭 60頭 50頭 4戸
2. 和牛子牛の有利販売対策の強化 (1) 和牛子牛資質向上対策協議会活動による総合的 な資質向上対策を実施し、併せて推奨子牛の表 示販売 (2) ホームページによるP Rをおこない購買者を誘 致	おかやま四ツ☆子牛 認定率25%以上 10回
3. 一般市場上場頭数の維持・拡大 (1) 有力出荷者・購買者への訪問 (2) I V F産子等の特別レース販売による取扱拡大	6回 260頭
4. 畜産生産基盤の維持・拡大 (1) 生協産直事業に係る原料卵の安定供給 (2) 耕畜連携：S G Sを含む飼料用米利用推進と循 環型農業体系の構築	生産量190t/月 4,400t（S G S含む）

実行具体策	5年度行動計画（数値目標）
5. 県産畜産物の販売力強化 (1) 県産畜産物の有利販売と取り扱い数量の拡大（岡山つる牛販売・ピーチポークリニューアル） (2) J A 直売所における食肉・鶏卵の取り扱い数量の拡大 (3) 直営精肉店 2 号店の出店 (4) 飲食店（焼肉店等）の出店 (5) ネット販売の拡充（J A タウン・新規） (6) 「瀬戸内かきがらアグリ」の推進による販売力強化 (7) 鶏卵 N B ・ P B 商品リニューアルによる販売力強化	肉牛1,340頭 肉豚32,000頭 前年度比102%（食肉） 〃 101%（鶏卵） 検討 検討 前年比120% 里海卵 年間90t 1 アイテム新規作成
6. ミートセンター・G P センターの H A C C P 義務化への対応 (1) 外部機関によるコンサルティングを通じて J F S - B 規格の認証の更新 (2) H A C C P システム運用による食品安全管理の強化	J F S - B 規格 認証継続 食品安全目標の達成
7. ミートセンターの改善・新設 (1) ミートセンターの令和 6 年度移転に向けて協議・検討 (2) 加工品新規アイテムの検討	検討 2 アイテム



令和5年度家畜共済事業重点実施方策

岡山県農業共済組合（NOSAI岡山）

1 事業推進の方策

農業保険法に則って、家畜共済と収入保険の2つの保険を用意しています。家畜共済は、家畜の死亡、廃用、疾病及び傷害などの事故に対し、損害を補償する制度です。

収入保険は、農作物販売収入全体の減少を補償します。セット加入により、農業経営全体のリスクのカバーが可能となります。

家畜共済の昨年度の実績は、引受関係で期首時点の死亡廃用共済の区分数延1,091区分（63区分減）、頭数59,599頭（136頭増）、疾病傷害共済の区分数延649区分（25区分減）、頭数39,183頭（2,571頭増）でした。一方、事故関係は死亡廃用事故頭数で、3,968頭（408頭増）、疾病傷害事故件数は、44,891件（1,760件増）となりました。

畜産情勢は、資材高騰、調達困難などの諸事情による厳しさの中、先が読めない状況が続いています。

NOSAI岡山では、制度の普及はもとより農家経営のセーフティネットとなるよう適正実施に取り組めます。

- (1) 年1回の家畜飼養頭数調査を実施し、資源把握を行い、制度の周知徹底を図り、引受拡大による農家の損失補償に努めます。
- (2) 関係する研修会等へ積極的に参加して農家ニーズの把握に努めます。
- (3) 子牛及び牛の胎児を積極的に加入推進し、農家の補償拡大を図ります。

2 家畜診療所の運営

昨年県下で44,891件の病傷事故が発生し、その内38.7%に当たる17,392件の事故

について県下6家畜診療所にて診療を行いました。本年は南診家畜診療所の閉所により5診療所で34名の獣医師により診療業務及び損害防止事業を行っています。

家畜診療所は次の項目を重点とし業務を行います。

- (1) 畜産経営の安定を図るため、診療業務及び損害防止を充実させ、支援体制の強化を図ります。
- (2) 獣医師は、治癒率向上のため、疾病の早期摘発、早期治療を行います。
- (3) 生産獣医療体制の強化のため、職員の専門化を進め指導者を育成します。
- (4) 技術研究会の活動を中心として、高度獣医療提供のため獣医師の技術及び資質の向上に努めます。

3 損害防止事業の実施方策

死廃・病傷事故低減を図るため、生産獣医療支援センターが中心となって農家及び関係機関との連携により、損害防止事業の充実を図ります。

- (1) 畜産経営安定のために、繁殖率向上を目指した支援体制を充実します。
- (2) 子牛及び牛の胎児の事故を減少させるため、分娩時の飼育管理指導をします。
- (3) 肢蹄疾患を減少させるため、岡山県装削蹄師会と連携し事故防止に努めます。

NOSAI岡山では、畜産農家への支援による生産性向上、消費者への安心・安全の提供、防疫体制の拡充等も併せて重要な業務と考えておりますので関係各位のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

令和5年度重点事業について

一般社団法人岡山県畜産協会

①健全な畜産経営体を育成するための経営診断・指導及び担い手等の育成

○畜産経営技術高度化促進事業（県）

畜産経営の経営診断により現状分析を行い、診断結果と連動した飼養管理指導を県関係機関等と実施します。併せて金融機関と連携し融資計画の作成支援などを実施します。

酪農経営支援チームにおいては、経営診断結果や融資計画を活用した経営指導を実施します。岡山和牛子牛資質向上協議会においては、経営指導とともに、四ツ☆子牛の認定事業を通じ和牛子牛の資質向上に努めます。

また、他産業からの担い手の確保のための和牛入門講座及びフォローアップ研修を開催します。

飼料高騰対策としては、耕畜連携の推進による飼料用稲等の県産飼料の生産・利用拡大を推進するとともに、推進の中核となる岡山県コントラクター協議会の支援を行います。

○畜産特別資金推進指導事業（中畜）

畜特資金借入者の経営体質強化のため、融資機関等と効果的な指導体制を構築し、定期的な経営状況の把握を行うとともに、経営分析に基づく指導を実施します。

また、多額の投資を行っている経営等をモニタリングし、畜特資金借入が必要な経営の早期把握に努めます。

②酪農肉用牛振興対策

○畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター機械導入事業、中畜）

畜産クラスター計画に基づき、生産コス

トの低減、畜産物の高付加価値化、飼料自給率の向上を通じた畜産経営の収益性の向上に必要な機械装置の導入を希望する経営者の要望書及び申請書の取りまとめ等を行います。

○畜産経営体生産性向上対策事業（畜産ICT事業、中畜）

畜産農家の労働負担軽減・省力化に資する機械装置導入を支援します。

○酪農緊急パワーアップ事業（楽酪GO事業、中畜）

酪農家の経営体質強化に資する先進的機器の導入と一体的な施設の整備を支援します。

○家族経営における畜産DX推進事業（中畜）

畜産業の経営持続を支援するため、省力化や生産性の向上等に資する先進技術（DX技術）機械を導入した農家の経営状況や機械の稼働状況を調査・分析し、併せてDX技術導入が経営改善に繋がると想定される経営体への普及推進を図ります。

○酪農経営安定化支援ヘルパー事業（機構）

ゆとりある生産性の高い酪農経営の実現及び担い手の確保を図るため、酪農ヘルパー人材育成支援、傷病時の利用負担軽減等利用組合の強化を支援します。

○肉用牛経営安定対策補完事業（機構）及び生産基盤拡大加速化事業（肉用牛協会）

前者では肉用牛ヘルパー活動の推進や簡易牛舎等の整備、中核的担い手の育成と増頭を推進します。

併せて、後者の増頭事業にも取り組み、輸出の拡大に向けた和牛増産を推進します。

③価格安定対策

○肉用牛肥育経営安定交付金制度

(機構・県)

肉用牛肥育経営の安定化と肉用牛生産基盤の拡大に資するため、出荷された肥育牛の標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合、その差額の9割を交付金として交付します。交付金のうち、4分の1については、生産者積立金（一部県が負担）から支出します。

○肉用子牛生産者補給金制度（機構・県）

肉用子牛価格が低落し、保証基準価格を下回った場合、制度加入の生産者に対して補給金を交付し、肉用子牛生産の安定化を図ります。（保証基準価格－黒毛和種556千円、乳用種164千円、交雑種274千円）

○肉豚経営安定交付金制度（機構・県）

肉豚経営の安定化を図るため、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合、その差額の9割を交付金として交付します。

④家畜伝染性疾病的発生防止、衛生管理の向上等自衛防疫の推進

○予防注射事業（協会）

家畜の伝染性疾病的発生を防止するため、各家畜のワクチン接種を計画的に実施します。

○家畜生産農場衛生対策事業（国）

ヨーネ病及び牛伝染性リンパ腫（EBL）の感染拡大を防止するため、検査とハイリスク牛のとう汰に対して助成します。また、牛ウイルス性下痢（BVD）に関して、PI牛摘発検査、ワクチン接種及びとう汰に対して助成し、BVDのまん延防止、早期清浄化を図ります。併せて、飼養衛生管理指導及び牛異常産ワクチンの接種を推進し、家畜生産者による自主的な疾病対策を支援します。

○特定疾病自衛防疫推進事業（県）

鶏ニューカッスル病等のワクチン接種を組織的に実施し、疾病の発生予防を支援します。

**○家畜防疫・衛生指導対策事業（中畜）
（農場HACCP）**

農場HACCP認証に向けた取組支援及び取得後のフォローアップ指導等により、安全な畜産物の生産を推進します。また、農場従業員等を対象にした研修会、普及を図るための課題等を検討する普及推進協議会を開催します。（9農場）

（地域自衛防疫推進）

岡山県等との共催で、高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫、豚熱等に係る防疫演習を実施し、防護服等を提供します。（5回）

⑤死亡牛のBSE検査の補完業務等

（令和元年度から96ヶ月齢以上の死亡牛等）

○家畜衛生管理センター維持管理業務（県）

死亡した牛のBSE検査のため、集荷採材保管施設の維持管理を受託します。

○牛疾病検査円滑化推進対策事業（国）

死亡牛の円滑な処理を進めるため、農家に輸送費、処理費を補助します。

⑥生乳検査並びに乳質改善指導

○生乳検査受託事業（中販連）

中国5県で生産される生乳の格付検査を月3回行う他、生産者ごとの乳成分や細菌数の検査等を実施し、生乳の公正かつ円滑な取引に寄与します。

また、牛群検定農家の個体別成分検査や指導検査を実施し、飼養管理の改善や乳質向上に努めます。

事業の詳細については、電話でお気軽にお尋ねください。

企画管理部	086-221-0511
経営支援部経営対策班	086-222-8575
〃 価格対策班	086-234-5981
家畜衛生部	086-232-8442

生乳集荷の「安全・安心」な輸送業務に取り組んでおります。

株式会社 きびじ酪農運輸 代表取締役 笹野 英明

本 社 〒719-1156 総社市門田70-1 TEL(0866)93-8790

阿曾事務所 〒719-1103 総社市西阿曾前田193-4
TEL(0866)99-8300 FAX(0866)99-8301



＜お知らせ＞畜産現場の事故防止事例集をつくったよ！

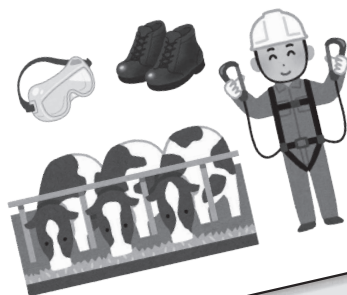
<http://okayama.lin.gr.jp/tosyo/r04jikoboushijirei.pdf>



URLか二次元バーコードからアクセスすれば事例集を見ることが出来るよ

畜産業における 事故防止に向けた事例集

発行元：一般社団法人 岡山県畜産協会
監修：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合
研究機構 農業機械研究部門 機械化連携推進室 機械
化連携調整役 志藤 博克



魔理沙



私たちも事故防止動画をYouTubeにUPしてるので観てね！



霊夢



岡山県畜産協会制作

東方Project (©上海アリス幻楽団)

《新規選抜》 岡山県基幹種雄牛「糸勝百合」号の紹介

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 育種改良研究グループ

1 はじめに

次世代を担う新たな基幹種雄牛として、「糸勝百合」号が選抜されたので、ご紹介します。

岡山県基幹種雄牛「糸勝百合」号

◎岡山県で歴代最高の産肉成績

◎全国でもトップクラスのBMSNo.10.8



写真1 「糸勝百合」号

生年月日：平成30年3月17日

生産者：亀山 幾夫氏（吉備中央町）

登録番号：黒原6249

審査得点：83.7点

血統：

美津百合	百合茂	平茂勝	第20平茂
		しらゆり	神高福
	よしの1	美津福	谷福土井
		91やすひろ	9中丸
かつひらかつ	北平安	安平	安福(宮崎)
		てるふく3	菊照土井
	かついとかずみ	勝忠平	平茂勝
		第5いとかずみ	糸藤(岡山)

糸勝百合は吉備中央町の亀山幾夫さん宅で繋養されている「かつひらかつ」号に家畜改良事業団の種雄牛「美津百合」号を交配し生産されました。

母の「かつひらかつ」号は、真庭地域で代々繋養されている「かずみ系」の雌牛です。「かずみ系」は、真庭地域で繋養されていた岡山系の雌牛から生まれた「かずみ12」号を始まりとし、兵庫系種雄牛も取り入れて改良がされてきた系統で、脂肪交雑に優れる特徴があります。「糸藤（岡山）」号や「勝忠平」号、「北平安」号で改良を加えた「かつひらかつ」号は高い産肉能力を持ち、特に脂肪交雑の能力が優れていることが特徴です。産子の枝肉成績も肉量に優れ、特に脂肪交雑ではBMSNo.10以上を4頭も輩出しています。

本県では、高能力な種雄牛を作出するため、県内の優秀な繁殖雌牛から生まれた雄子牛をゲノム検査し、能力を調査しています。「糸勝百合」号は、その結果から枝肉重量やロース芯面積、脂肪交雑の能力の高さに期待して、種雄牛の候補となりました。

2 検定成績

16頭（去勢9頭及び雌7頭）で現場後代検定を実施した結果、肉量・肉質ともに優れる検定成績となりました（表1）。特にロース芯面積やバラの厚さ、歩留基準値、脂肪交雑は、本県で歴代最高値となり、脂肪交雑については総平均が10.8と、全国でもトップクラスを誇る成績でした。第57回岡山県育種価でも枝肉重量と皮下脂肪厚を

除くすべての形質で上位1%以内に入る能力を持っていることが分かりました。

表1 「糸勝百合」号の検定成績と育種価

	検定成績			第57回 育種価 ランク
	去勢	雌	総合	
枝肉重量(kg)	501.2	478.2	491.1	B2
ロース芯面積(cm ²)	74.0	76.4	75.1	1%
バラの厚さ(cm)	9.3	8.7	9.0	1%
皮下脂肪(cm)	3.0	3.2	3.1	B1
歩留基準値	76.3	76.3	76.3	1%
脂肪交雑 (BMSNo.)	11.2	10.3	10.8	1%

また、先に述べた検定成績以外に、枝肉の肉色が鮮やかなものが多いことも分かりました。肉色は「牛肉色基準(BCS)」において7段階で評価され、鮮やかな赤色を示すBCSNo. 3が最も高い評価です。糸勝百合は、全16頭中11頭の枝肉がBCSNo. 3と評価され、肉色も優れていることが分かりました。

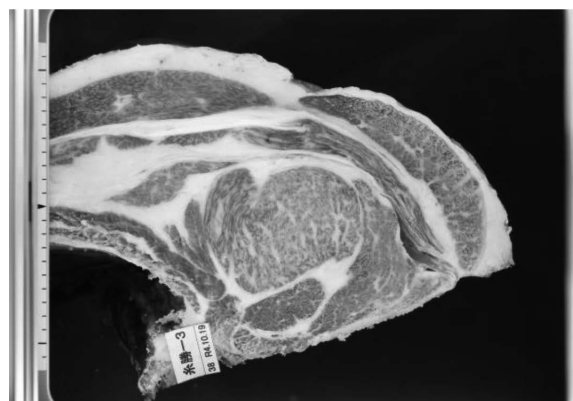


写真2 「糸勝百合」産子の枝肉

■母の父：藤沢茂 ■母方祖父：平鶴
 ■母曾祖父：利花 ■性別：去勢
 ■枝肉重量：487.8kg ■ロース芯面積：95cm²
 ■バラの厚さ：8.2cm ■皮下脂肪：2.0cm
 ■歩留基準値：79.4 ■BMSNo.12
 ■BCSNo. 3

3 交配のポイント

交配については、検定成績からみると、雌牛の系統を問わずに好成绩で、特に脂

肪交雑の高さは安定しています。さらに枝肉重量を確保するためにも、藤良系や気高系といった増体系の雌牛への交配を推奨します。

産子の生時体重については、雄平均が35.2kg、雌平均が35.1kgとやや大きめの子牛が生まれます(表2)。また、生時体重が40kgを超える子牛もいたことから、経産牛や大型の雌牛への交配を推奨します。

表2 産子の生時体重と在胎日数

	頭数	生時体重(kg)			在胎日数
		平均	最小	最大	
雄	9	35.2	27.0	40.0	291.1
雌	7	35.1	29.5	48.0	

4 おわりに

「糸勝百合」号は高い産肉能力および全国トップクラスの脂肪交雑能力を持つことから、生産者の収益性向上が期待できる岡山県期待の種雄牛です。また、すでに県内でも多くの生産者の方々に利用されており、その産子の出生や枝肉成績が楽しみにされている種雄牛でもあります。

当研究所で繋養している基幹種雄牛は「糸勝百合」号が新たに選抜されたことで、「藤初花」号、「新花百合」号、「美恵茂」号、「新岡光81」号、「秋藤花国」号を合わせた全6頭となりました。いずれも本県の和牛改良に資する優秀な種雄牛ですので積極的な活用をお願いいたします。

終わりになりますが、種雄牛の生産者をはじめ、現場後代検定に協力して頂いた繁殖農家並びに肥育農家の方々、多くの関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

〔県民局だより〕

暑さをジェラートでリフレッシュ！

備前県民局畜産班 矢原大雅

1 はじめに

備前県民局畜産班の矢原と申します。今年4月に新採用となり酪農を担当していますので、よろしくお願いします。

備前県民局管内は交通の利便性がよく、岡山市近郊の消費地に近い立地を活かし、自ら生産した生乳を利用し、牛乳、乳製品の製造、販売に取り組む酪農家が多くいます。今回は、これからの季節にぴったりのジェラートの販売を行う酪農家にスポットを当てて、管内にある5軒を紹介します。(五十音順)

2 お店の紹介

(1) 牛窓ジェラート工房コピオ

(瀬戸内市牛窓町牛窓479-4)

お店は、海と島の美しさから日本のエーゲ海として有名な瀬戸内市牛窓町にあります。店主が大好きだという素晴らしい眺めの中で食べるジェラートは格別です。コピオは、牛窓の観光スポットの1つとして地域の魅力向上の一助となっています。牛に与えるエサは、管内で生産されたイタリアンライグラスサイレージと稲 WCS を利用し、乳脂肪分の多い生乳生産を目指しています。毎朝、店主自らが牛のエサやりや搾乳作業を行い、搾りたての生乳を使用してジェラートを製造し、お客さんとの関わりを大切に考え、対面販売しています。

地元の中学校の職場体験学習をジェラート工房で行っており、地域との関わりも大切にしています。



【営業時間】 12時～17時

【定休日】 月曜日、火曜日

TEL: 0869-34-6446

(2) 松崎牧場GENUINO

(岡山市東区松新町332)

牛に与えるエサは、自作地や地元の水田を借り受け、イタリアンライグラスとスーダングラス、稲 WCS とイタリアンライグラスの二毛作栽培体系で生産し、粗飼料自給率100%を達成しています。エサからこだわり毎朝搾乳した生乳を使った作りたてのジェラートは大人気です。

店主は、これから6次産業化に取り組もうとしている酪農家に向けて「酪農が儲からないから、アイスを始めるという意識では絶対に成功できない。商売は人脈が重要であり、自ら取引先との商談をするなど、自分で営業をする必要があり、酪農よりも大変なことも多い」と伝えたいとのこと。



【営業時間】 12時～16時

(土日祝のみ営業)

TEL: 086-239-4649

(3) まつだミルク工房

(岡山市北区御津河内2987-119)

山の中の工房にも関わらず、口コミによるお客さんが多くいます。ジェラートを食べながら放牧地にのんびりと牛が放牧されている風景を見ることが出来ます。山には、野芝を植え和牛繁殖雌牛や

乳用の育成牛を放牧することで、管理の手間も少なく済みます。また、牛が休めるよう自ら木を植えています。

ジェラートに使用する生乳は毎日、その日の朝に搾ったしぼりたてのものを使用するというこだわりがあります。なめらかで、まるやかな口当たりが大人気です。



【営業時間】
10時～17時45分
(土日祝のみ営業)
TEL: 086-724-3399

(4) ミルク工房ジェラテリアMISAO本店 (岡山市南区北七区628)

岡山県産の食材を使ったジェラートにこだわっており、ピオーネや白桃など様々な味のジェラートが味わえます。牧場ではホルスタイン、ジャージー、ブラウンスイスを飼養し3種類の乳牛から搾った生乳をブレンドしてジェラートを製造しています。また、牧場ではウサギやヤギなど様々な動物を飼育しており、動物とのふれあいも体験できます。



【営業時間】 10時半～17時
【定休日】
10月～4月の毎週月曜日
(祝日の場合は翌日)
5月～9月は無休。
TEL: 086-362-5542

(5) 安富牧場ファミリー (岡山市北区下足守402-3)

安富牧場では牧場を消費者に紹介し、その内容を知ってもらう取り組みを行っており、酪農の生産現場を見学することができます。また、搾乳ロボットや暑熱対策として設置した畜舎冷房システムなどの様々な機械を導入した先進的な取組

も特徴的です。さらに衛生管理については、平成31年3月にHACCPの考え方に基づいた「農場HACCP認証農場」に県内酪農家第一号として認証されています。一方、自分たちで搾った生乳を自分たちで売りたいという強い思いから、県内で唯一、自家生乳で製造した牛乳を販売しています。牧場では消費者との交流会の開催や転作田を活用した貸し農園、搾乳体験も行われています。食農教育の実践など地域と様々な活動をし、酪農の理解度アップを図るとともに地域との関りも大切にしています。

安富牧場は、県内酪農家で初めて自ら生産した生乳を使用したジェラートの製造・販売に取り組んできたため、今ではジェラートの製造・販売を行う酪農家のモデルになっています。



【営業時間】
3～10月：10～18時
11～2月：10～17時
【定休日】
不定休、水曜日(1,2月)
TEL: 086-295-0394

3 まとめ

飼料費の高騰や物価高騰に適応した乳価にならず経営環境が厳しい中、酪農家自らが乳製品の加工販売を行うことは、生乳の価値の向上、経営の多角化など収益性向上の一手法になっています。また、地域の観光資源としても一役買っています。酪農家自らが搾った新鮮な生乳を使ったジェラートをぜひ味わってみてください。

また、備前県民局の管内にはチーズやヨーグルトを製造しているところもあります。また別の機会に、ご紹介したいと思います。

管内一養豚場における生産性向上に向けた 飼養管理改善の取組

井笠家畜保健衛生所

1 はじめに

管内の繁殖・肥育一貫経営のA養豚場で生産性向上に向けた飼養管理改善の取組を行いましたので概要を紹介します。

令和2年11月、子豚の発育不良について畜主より相談があり家保が指導を開始しました。子豚の発育不良は、ストレスや感染症など様々な要因により引き起こされますが、特に肥育期間の延長につながり生産性を低下させます。指導開始当初は、ワクチンプログラムの再検討、母豚の駆虫、発育の悪い離乳豚への人工乳の利用等の対策を行い、子豚の体重は徐々に増加しました。

2 豚熱ワクチン接種

その後、令和3年4月より県内で豚熱ワクチン全頭接種が開始され、A養豚場では子豚は毎週、繁殖豚は年数回、家保が計画を立て、豚熱ワクチンを接種するようになりました。その結果、家保のA養豚場への立入指導回数が、令和2年度の18回から令和3年度は54回、令和4年度は61回と大幅に増加しました。

農場立入時は、作業開始前に畜主夫妻と事務所でミーティングを行うようにしており、立入指導回数の増加に伴いミーティングの回数も増加し、農場の近況や問題点について細かに聴取することができるようになりました。

3 肥育豚の皮膚病検査

そのような状況の中、令和4年8月、哺乳豚や子豚で皮膚病が多く見られ、衰弱、死亡の経過をたどる重症例も散見されるため原因を調べて欲しいとの相談を受けました

(写真1)。そこで、分娩豚舎の哺乳豚、離乳豚舎の子豚について皮膚病の検査を行いました。

その結果、疥癬ダニ等の外部寄生虫は検出されなかったものの、細菌検査で、異なる豚舎、豚房の子豚の皮膚病変部から、同じ種類のブドウ球菌が検出されました。また、検出された菌はいずれも、アンピシリンなどの抗菌剤に耐性を示す薬剤耐性菌でした。



写真1 皮膚病の子豚

4 消毒中心の感染症対策

薬剤耐性菌が子豚の皮膚病変から検出されたため、感染症対策を抗菌剤投与から消毒中心に変更しました。具体的には、豚舎全体の噴霧消毒や踏込消毒槽の確実な使用を指導しました。また、離乳豚舎に床暖房装置を設置したことにより、経費の大幅な削減に加え、暖房効果や換気性向上による離乳豚のストレス軽減を図りました。さらに、この暖房設置工事に併せ、離乳豚舎の豚を一時的にオールアウトし豚舎の一斉消毒を実施しました。

このような感染症対策を実施した結果、令和4年秋ごろには、子豚の皮膚病がほぼ認められない程度に改善し、子豚の発育不良も大幅に改善されました(写真2)。



写真2 皮膚病が改善した子豚

5 母豚の個体管理の整備

頻繁な立入指導や豚熱ワクチン接種を実施する中で、母豚の個体管理が不十分だという問題点が新たに見つかりました。母豚は、耳標又は柵やストールに針金で結びつけられたメモで個体番号が管理されていました（写真3）。しかし、耳標が脱落した母豚が散見され、メモの字は汚れて読めないものもありました。また、針金で結びつけられたメモは、母豚の移動の際にメモの移動を忘れる可能性が高いと考えられました。



写真3 針金で結んだメモ

そこで、大きな洗濯ばさみに番号札を取り付け、柵やストールに取り付けが容易で、遠くからでも見やすい標識を家保が新たに作製し使用することにしました（写真4）。その結果、母豚の移動の際に、標識を作業着にとめて移動することができ、標識の移動忘れが防止できると非常に好評でした。



写真4 新たに作製した標識

また、新しい標識を設置する際に母豚全頭の個体番号を確認し、母豚の管理台帳を整備しました（写真5）。この台帳には、全母豚の豚熱ワクチン接種記録に加え、出産日や出産頭数、離乳頭数などの成績も記録し、随時更新するようにしました。母豚の管理台帳を整備したことにより、豚熱ワクチンの正確な接種に加え、母豚個体ごとの健康状態の把握、交配計画などにも活用し、作業性向上につなげることができるようになりました。

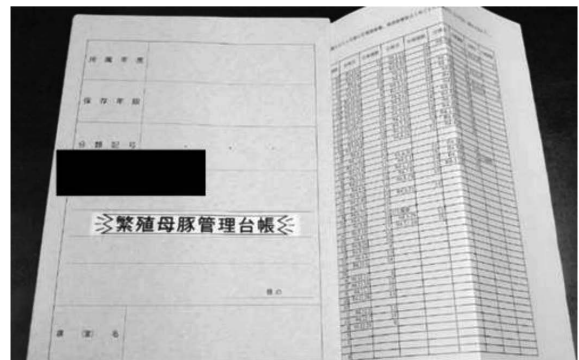


写真5 母豚の管理台帳

6 まとめ

検査の結果に基づき、消毒中心の感染症対策を実施することで農場内に広がっていた皮膚病が改善され、子豚の発育不良も大幅に改善されました。また、母豚の個体管理を整備したことにより作業性向上に繋げることができました。

これらの取組の結果、目覚ましい成果が見られたことで畜主のモチベーションが向上していると感じられました。また、一度良くなった状態を、元の悪い状態に戻すことなくそのまま維持したいという畜主の気持ちが強くなりました。

今回の結果は、豚熱ワクチンをきっかけとした家保の頻回な立入指導が畜主との距離を近づけ、緊密な情報交換が的確な指導につながったものでした。今後も農家と協議を重ねながら、生産性向上に向けた取組を継続していきたいと考えます。

〔酪大だより〕

第59期生が入学しました

公益財団法人中国四国酪農高等学校

令和5年4月11日、公益財団法人中国四国酪農高等学校に第59期生27名（男子13名、女子14名）が入学しました。このうち岡山県から9名の学生が入学した他、東は福井、西は沖縄まで幅広い地域からの入学者があり、このことは酪大の一つの特徴である卒業後の広域なネットワーク構築に役立っていると思います。新型コロナウイルスの影響により近年は入学式の参列者数を制限していましたが、今年は3年ぶりに新入生、在校生、教職員、保護者、来賓すべてが揃った式を行うことができました。コロナ禍で様々な行事が制限を受けていましたが徐々に以前の形式に戻すことができるようになり嬉しく思います。



入学式の様子

昭和36年に「岡山県立酪農高等学校」として設立された本校は、昭和40年に中国四国9県と兵庫県を合わせた10県で構成する「財団法人中国四国酪農高等学校」に改組し、その後平成22年に専修学校の認可を受け、平成25年には公益財団法人に移行しました。『経営感覚と確かな技術を持った人材の育成』『酪農を通じて地域に貢献できる人材の育成』『社会人としての基礎力を備えた人材の育成』の3つを教育理念に掲げ、卒業後に即戦力として活躍できるよう技術と知識の修得を目指した実践教育を行っています。トラクターやフォークリフト等の

作業機械免許や家畜人工授精師、受精卵移植師、削蹄師等の畜産現場で役立つ資格を取得する機会を設けるとともに、飼養形態、飼養品種の異なる2つの付属牧場（第1牧場：つなぎ牛舎・パイプライン搾乳・ホルスタイン種・黒毛和種、第2牧場：フリーストール牛舎・パーラー搾乳・ジャージー種）で実践を重ねることにより、机に向かった授業だけでは得ることのできない技術の修得を目指しています。

第59期生は現在搾乳理論や飼養管理学、酪農基礎学といった基礎科目を中心に学んでいます。5月下旬からは付属牧場での実習が始まっています。今年は元気な学生が多く先日行ったロープワークでは授業中もとても賑やかでした。また、分からない学生がいれば誰かが率先して教えに行っており、今後もこの和やかな雰囲気のもと助け合いながら様々なことを学んで欲しいと思います。



授業の様子

昨今、日本の畜産業はさまざまな課題を抱えており、業界を取り巻く環境は厳しさを増す一方ですが、この現状を打破し畜産業界に新風を吹き込む人材の育成を目指し、日々精進してまいりますので、酪農家、肉用牛農家を目指す若者に、ぜひ本校をお勧めください。

CHUGOKU SHIKOKU COLLEGE OF DAIRY FARMING

令和6年度

学生募集

■推薦入試

受付期間:令和5年10/1(日)~10/13(金)

試験日:令和5年10/20(金)(岡山会場)
10/23(月)(本校会場)

■一般1次募集

受付期間:令和5年11/6(月)~11/17(金)

試験日:令和5年12/4(月)

■一般2次募集(定員に達した場合は実施しない)

受付期間:令和6年2/1(木)~2/16(金)

試験日:令和6年3/4(月)

牛たちとのふれあい、
仲間との楽しい時間。
大自然の中、一生に残る
2年間で過ごしてみませんか？



令和5年(2023年) オープンキャンパス

第1回

7/24(月)~25(火)

第2回

7/27(木)~28(金)

第3回

8/9(水)~10(木)

第4回

8/21(月)~22(火)

学校説明会・
見学会

第1回

7/15(土)

第2回

8/11(金祝)

公益財団法人

2年間で酪農経営力を
身につけます！

酪農に必要な資格が
取得できます！

奨学金の制度も
あります！

中国四国酪農大学校

SEARCH!

中国四国酪農大学校

GO!

〒717-0604 岡山県真庭市蒜山西茅部632 TEL (0867) 66-3651 FAX (0867) 66-3652

〔教育現場の声〕

「農大生はプロジェクト学習に取り組んでいます！」

岡山県農林水産総合センター 農業大学校

1 はじめに

本校では、今年度、園芸課程3コース（果樹、野菜、花き）と畜産課程1コース（和牛）の計4コース、66名の学生が日々の学習に取り組んでいます。

2 学習内容

和牛コースでは、赤磐市の本校と併せて美咲町の分校（畜産研究所）において、実習や畜産に関する13の専門科目について学んでいます。

3 プロジェクト学習

2年次には、自らが課題を設定し、計画を実行し課題解決を図るプロジェクト学習に取り組んでいます。

令和4年度に卒業した学生が取り組んだプロジェクト学習について紹介します。

（1）放牧する子牛を【シマウシ】にすることでサシバエ（吸血昆虫）の対策となるか

～畜産課程 和牛コース 岸本奈々～

これは、これまで様々な機関で取り組まれてきた課題で、今回は子牛のストレスを軽減し適正な成育を促すことを目的に検討したものです。また、シマウシにする際の塗料の種類や持続時間、忌避効果についても検討しました。

（結果）

子牛を使った塗料の持続時間では、毛刈りの有無、水性スプレー、水性ペンキ、油性ペンキなどを検討しましたが、毛刈りを行い、油性ペンキで塗装した場合が最も持続性が長い結果となりました。牛の行動調査を見ると、やはりシマウシにすると頭を振る回数、足を振る回数が格段に減り、忌避効果を改めて確認できました。

本試験の試験牛の成育も、当初期待したとおりの成長を見せ、試験牛雌（7ヶ月齢）で体高107cm、体重272kgと十分な発育となりました。

一方で、油性ペンキは特有の臭いが強かったため、牛にも人にも苦痛を与える可能性があると考えられました。

（2）デントコーンの湿害対策の検討

～畜産課程 和牛コース 皆木楓哉～

岡山農大では、これまでスイートコーンを飼料用トウモロコシに見立てて栽培してきました

が、現在の栽培ほ場では排水性が悪く、場所によっては著しい生育不良となりました。

そこで排水性に着目し縦穴暗渠による湿害対策を行い、収量増加に取り組みました。

（結果）

発芽不良の原因の一つと考えられた地下から湧く水の水位を測るため、オーガによる縦穴を1m掘り、水位調査を行いました。地下水は貯まりませんでした。

一方、排水用に設置した縦穴暗渠には降雨時には水が貯まり、付近には水たまりが見られず、トウモロコシの生育もよかったことから縦穴暗渠による排水は有効だったと考えられました。

（3）堆肥化による野菜残さの有効活用について

～畜産課程 和牛コース 山家鈴菜～

岡山農大では、野菜等の残さが年間約2t出しており、それらすべて土中に埋却処理をしています。これら野菜残さに農大（分校を含め）から出た牛ふん、米ぬかやもみ殻を混ぜ、ほ場に還元するという農大サイクル（資源循環）の仕組みづくりを検討しました。

（結果）

堆肥化するため、水分調整を行い、配合割合を牛ふん：野菜残さ：もみ殻：米ぬか＝1：1：1：1とし、発酵温度、堆肥成分分析（十勝農業連合会に依頼）、コマツナの発芽試験、ほうれん草栽培試験（生育調査の他に病害虫調査、雑草調査を実施）を行いました。いずれも問題は有りませんでした。野菜くずは水分が高く、またもみ殻による水分調整が難しい点が課題で、副資材の混合割合を検討する必要があると考えられました。

4 おわりに

令和4年度から、岡山農大では、より実践的な実習を行う目的で延べ3週間、近隣の農家での校外実習を行いながらのプロジェクト活動となり、苦労も多くありました。そのような中で、本プロジェクトは、基礎的な部分を中心に、学生自らが興味を持った内容を課題とし、学生たちも意欲的に最後までやり遂げました。

この2年間学んだ事を糧に、今後それぞれの就職先で活躍してくれることを期待しています。

令和6年度入学 学生募集

繋ごう！農業を未来へ！

Okayama
College of
Agriculture

デザイン：五嶋 菜月

標 語：下野 稀未

入試区分	入学願書受付期間	入学試験日
推薦	令和5年8月30日(水)～9月13日(水)	令和5年9月30日(土)
一般前期	令和5年10月18日(水)～11月1日(水)	令和5年11月17日(金)
一般後期	令和6年1月4日(木)～1月17日(水)	令和6年2月2日(金)
募集定員	35名	受験料 無料
受験資格	・高等学校を卒業した者（令和6年3月卒業見込みの者を含む） ・上記と同等以上の学力があると認められる者等	
教育課程 及び 修業年限	課程	専攻
	国 芸	果樹コース・野菜コース・花きコース
	畜 産	和牛コース
修業年限	2年	
問合せ先	岡山県農林水産総合センター 農業大学校 〒701-2223 岡山県赤磐市東蓬田157 Tel 086-955-0550 Fax086-956-0090 HP : http://pref.okayama.jp/soshiki/234/ E-mail : nousou-noudai@pref.okayama.lg.jp	



オープンキャンパス
令和5年度開催予定

7月29日(土) 対象：高校生、一般

8月26日(土) 対象：高校生、一般

動物用 カルシウム剤 ダービー

ダービーは貝化石の
微粉末であり貝化石には
カルシウムや各種ミネラルが
豊富に含まれています。
カルシウムの供給源として
搾乳牛や子牛にも
最適です。



JYUCHIKU Co., Ltd. 株式会社ジュウチク

岡山市北区今保 99 番地 3

Tel.086-259-1230 Fax.086-259-1231

Email : jyuchiku@festa.ocn.ne.jp

健康な仔牛づくりへの
一歩目はこれから！

A 飼料

ミラクルS

成分表		成分表	
粗タンパク質	18.0%	粗タンパク質	18.0%
粗脂肪	5.0%	粗脂肪	5.0%
粗繊維	15.0%	粗繊維	15.0%
水分	82.0%	水分	82.0%

フタバ飼料株式会社
〒709-0841 岡山県岡山市東区瀬戸町万富1057-1
TEL 086-953-0832

弊社では、四十年余り培ってきた醗酵技術を用
いることで、乳酸菌やその他の菌類を使用した良
質な醗酵飼料を、肉用・乳用を問わず、全ての
ステージの牛に対して提供しております。

また、弊社ではこれらの技術を利用したオーダ
ー品の設計や生産、飼料米の粉碎などの原料の
加工も承っております。

原料を持込での加工依頼や、御要望の数量の
多寡を問わず、まずはお気軽に御相談下さい。

醗酵飼料のパイオニア

フタバ飼料株式会社

〒709-0841 岡山県岡山市東区瀬戸町万富1057-1

TEL 086-953-0832 FAX 086-953-1870

E-mail : futabashiryo.co.jp

令和5年度和牛入門講座受講生募集!!

あなたの夢を応援します!おかやまで和牛を飼ってみませんか?

将来岡山県で就農等を希望している方を対象に、経営を開始にあたっての知識や技術に関する基礎講座や牧場体験実習等を行います。

●開講日時等 第1回目(全4回)

令和5年8月19日(土) 10:00~15:00

久米郡美咲町 岡山県農林水産総合センター畜産研究所

●申込書請求・申込み・お問い合わせ先

(一社)岡山県畜産協会 経営支援部経営対策班

TEL: (086) 222-8575

H P: 一般社団法人 岡山県畜産協会 <http://okayama.lin.gr.jp/>

その他: 家畜伝染病の発生等状況によっては、講座の中止又は内容の変更を行う場合があります。

高知競馬開催案内(2023)

地方競馬の収益金の一部は国内の畜産振興に役立てられています。

7 月				8 月			
開催日	備 考			開催日	備 考		
1 土 ○	ナイトー			1 火			
2 日 ○	ナイトー			2 水			
3 月				3 木			
4 火				4 金			
5 水				5 土			
6 木				6 日			
7 金				7 月			
8 土 ○	ナイトー			8 火			
9 日 ○	ナイトー			9 水			
10 月				10 木			
11 火				11 金			
12 水				12 土 ○	ナイトー		
13 木				13 日 ○	ナイトー		
14 金				14 月			
15 土				15 火			
16 日 ○	ナイトー			16 水			
	ナイトー(14:45~20:50)				ナイトー(14:45~20:50)		

あとがき

公務員には地域手当なるものがあり、東京23区であれば、20パーセントの手当が上乘せ支給される。住宅費や物価、民間賃金が高い地域に勤務する職員に差額として支給されるもので、23区以外に住んでいても支給される。

地方から見れば、公共交通インフラも充実しているし、しかも運賃も安い。自家用車も必要ないし、生活の利便性を考慮すれば、住宅費が高くて当たり前だ。

地方より社会インフラの恩恵を享受できるのに、更に賃金がいとくれば、東京への一極集中は止まらない。

狭い日本、本気で地方再生を考えるなら、地域手当を見直し、地方やへき地の手当を増額すべきだと言いたい。(Y.N)

岡山畜産便り 6月号(初夏号)

第74巻 第4号(通巻705号)

令和5年6月27日発行

定価250円(消費税・送料含)

発行人 柴田範彦 編集人 藤原裕士

発行所 一般社団法人 岡山県畜産協会

〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18 岡山県農業会館5階

TEL 086-222-8575 FAX 086-234-6031

印刷所 ノーイン株式会社



肉用牛ゲノミック評価 Web情報提供サービス(G-Eva®)

家畜改良事業団は産肉能力向上を目的として、平成27年度から繁殖雌牛の枝肉6形質のゲノミック評価を実施してきました。また、令和元年9月からは枝肉形質に加え、脂肪酸組成形質についても評価を開始しています。

その一つの形が、肉用牛ゲノミック評価Web情報提供サービス「G-Eva®」(ジーバ)です。
「G-Eva®」を利用することにより、ゲノミック評価実施者の利便性を高め、より優れた産子の生産、繁殖牛群の構築などの現場での利用を目指しています。「G-Eva®」は令和2年12月1日から運用を開始しています。
お問い合わせは各種雄牛センターまたは家畜改良技術研究所遺伝検査部へ。
詳しい説明等は、http://liaj.or.jp/giken/usi_g-eva.htmlをご覧ください。

こちらからも⇒



☆G-Eva®ではこんなことが出来ます！☆

1. 最新の評価結果！
 - ・評価時期の異なる個体の比較
 - ・牛群の遺伝的能力の把握（各種グラフ機能）
2. 種雄牛との交配予測！！
 - ・交配予測による当団供用種雄牛の選択支援

ゲノミック検査実施農家は

無料で利用可能！

- ・**遺伝的距離を用いた当団供用種雄牛の自動選択**
 - ・**交配予測による産子の生時体重の予測**
3. Webアプリによる閲覧！！
 - ・パソコン、タブレット、スマートフォンに対応
 - ・ダウンロードやインストール不要

新機能



(一社) 家畜改良事業団 岡山種雄牛センター

TEL: 0868(57)2475
FAX: 0868(57)2476

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報 がんばる! 畜産! 6

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！

映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！

配信中の内容：国産原料100%の飼料で黒毛和牛を肥育する農家に密着！／シリーズ 令和の畜産危機にさせないために／放牧で飼料代燃料代を抑えた酪農経営／他



◀スマートフォンからはこちら

▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



お問合せ：(公社) 中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846